

2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名 科目ナンバー	保育内容の総合的指導法「言葉」 Ⅲ-6-2-2 ④		教員氏名	久保 小枝子		
学年	2年		開講学期	前期		
授業形態	演習		単位数	1単位		
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	幼稚園教諭	26年	
テーマ	保育内容「言葉」の保育実践の指導のあり方を学ぶと共に、言葉に関する感性を磨く					
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	保育における子どもの生活や遊びを総合的に捉え、保育を展開していくための方法や技術、「言葉」を大切にしながら子どもの実態や状況に即した援助や関わりについて具体的に学ぶ。また、教材等の活用と工夫、保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)の実際について理解する。 幼稚園での実務経験をもとに学生が児童文化財を実践的に身に付けられるよう授業を展開する。					
授業の 到達目標	1.保育内容の領域「言葉」のねらいと内容を、乳幼児の言語的発達と結び付けて説明できる。 2.児童文化財が与える乳幼児への影響を考え、年齢・発達に応じた教材を準備し実践、振り返りができる。 3.保育者としての言葉の感覚を磨き、適切に使用できる。					
テキスト	『保育者のための言語表現の技術-子どもとひらく児童文化財をもちいた保育実践』 古橋和夫編著 萌文書林					
参考書	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する					
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○	
その他:						
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験・ 筆記試験	40%	授業内で筆記試験を実施する			
	授業内課題 ・発表等	40%	指導計画案(20%)、手づくり教材の発表(20%)			
	参加度・ 学習態度等	20%	授業に臨む姿勢			
その他						
再試験	行う	行なわない 場合の 理由				

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	講義の概説と趣旨(オリエンテーション) 絵本の特徴と読み方	
	授業外学習	(事前学習)テキストp.99～120を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第2回	テーマ 内容	絵本の作品理解、絵本の実演と振り返り(ロールプレイ)	
	授業外学習	(事前学習) 幼児の発達に応じた絵本を選び、作品理解を深め、読み聞かせの練習をする (事後学習) 良かった点と改善点を振り返る	55分
第3回	テーマ 内容	パネルシアター、ペープサートの特徴と演じ方	
	授業外学習	(事前学習)テキストp.137～171を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第4回	テーマ 内容	紙芝居の特徴と演じ方	
	授業外学習	(事前学習)テキストp.121～136 (事後学習)紙芝居を選び作品理解を深め、読み聞かせの練習をする	55分
第5回	テーマ 内容	言葉生活を豊かにする手作り教材と計画指導案作成	
	授業外学習	(事前学習)計画指導案を作成する (事後学習)発達に応じた教材を考えて準備する	55分
第6回	テーマ 内容	手作り教材と計画指導案の発表	
	授業外学習	(事前学習)手作り教材を仕上げ、練習を重ねる (事後学習)良かった点と改善点を振り返る	55分
第7回	テーマ 内容	言葉生活を豊かにする手作り教材と計画指導案と振り返り	
	授業外学習	(事前学習)実習に向けて、計画指導案を作成する (事後学習)実践を通して、振り返る	55分
第8回	テーマ 内容	子ども(乳幼児)のことばの発達	
	授業外学習	(事前学習)テキストp.36～50を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第9回	テーマ 内容	絵本を素材として言語表現・身体表現を楽しむ①グループワーク	
	授業外学習	(事前学習)配布資料を読む (事後学習)発表のための練習を重ねる	55分

第10回	テーマ 内容	絵本を素材として言語表現・身体表現を楽しむ②グループ発表	
	授業外学習	(事前学習)発表のための練習を重ねる (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第11回	テーマ 内容	児童文化財とことば—保育内容領域「言葉」とのかかわり—	
	授業外学習	(事前学習)テキストp.51～70を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	0分
第12回	テーマ 内容	子どものことばを豊かに育む保育者の役割—保育者の役割と環境構成—	
	授業外学習	(事前学習)テキストp.72～86を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第13回	テーマ 内容	まとめ これまでの学びを振り返る	
	授業外学習	(事前学習)これまでの学びを振り返る (事後学習)授業内で作成したノートや作品を整理する	55分

課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は、授業時に口頭や提出物返却を通じてフィードバックを行う。

2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名 科目ナンバー	保育内容の総合的指導法「言葉」 Ⅲ-6-2-2 ④		教員氏名	鵜野澤 武美		
学年	2年		開講学期	前期		
授業形態	演習		単位数	1単位		
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	幼稚園教諭、園長、保育士	25年	
テーマ	保育内容「言葉」の保育実践の指導のあり方を学ぶと共に、言葉に関する感性を磨く					
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	保育における子どもの生活や遊びを総合的に捉え、保育を展開していくための方法や技術、「言葉」を大切にしながら子どもの実態や状況に即した援助や関わりについて具体的に学ぶ。また、教材等の活用と工夫、保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)の実際について理解する。 幼稚園での実務経験をもとに学生が児童文化財を実践的に身に付けられるよう授業を展開する。					
授業の 到達目標	1.保育内容の領域「言葉」のねらいと内容を、乳幼児の言語的発達と結び付けて説明できる。 2.児童文化財が与える乳幼児への影響を考え、年齢・発達に応じた教材を準備し実践、振り返りができる。 3.保育者としての言葉の感覚を磨き、適切に使用できる。					
テキスト	『保育者のための言語表現の技術-子どもとひらく児童文化財をもちいた保育実践』 古橋和夫編著 萌文書林					
参考書	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する					
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○	
その他:						
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験・ 筆記試験	40%	授業内で筆記試験を実施する			
	授業内課題 ・発表等	40%	指導計画案(20%)、手づくり教材の発表(20%)			
	参加度・ 学習態度等	20%	授業に臨む姿勢			
その他						
再試験	行う	行なわない 場合の 理由				

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	講義の概説と趣旨(オリエンテーション) 絵本の特徴と読み方	
	授業外学習	(事前学習)テキストp.99～120を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第2回	テーマ 内容	絵本の作品理解、絵本の実演と振り返り(ロールプレイ)	
	授業外学習	(事前学習) 幼児の発達に応じた絵本を選び、作品理解を深め、読み聞かせの練習をする (事後学習) 良かった点と改善点を振り返る	55分
第3回	テーマ 内容	パネルシアター、ペープサートの特徴と演じ方	
	授業外学習	(事前学習)テキストp.137～171を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第4回	テーマ 内容	紙芝居の特徴と演じ方	
	授業外学習	(事前学習)テキストp.121～136 (事後学習)紙芝居を選び作品理解を深め、読み聞かせの練習をする	55分
第5回	テーマ 内容	言葉生活を豊かにする手作り教材と計画指導案作成	
	授業外学習	(事前学習)計画指導案を作成する (事後学習)発達に応じた教材を考えて準備する	55分
第6回	テーマ 内容	手作り教材と計画指導案の発表	
	授業外学習	(事前学習)手作り教材を仕上げ、練習を重ねる (事後学習)良かった点と改善点を振り返る	55分
第7回	テーマ 内容	言葉生活を豊かにする手作り教材と計画指導案と振り返り	
	授業外学習	(事前学習)実習に向けて、計画指導案を作成する (事後学習)実践を通して、振り返る	55分
第8回	テーマ 内容	子ども(乳幼児)のことばの発達	
	授業外学習	(事前学習)テキストp.36～50を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第9回	テーマ 内容	絵本を素材として言語表現・身体表現を楽しむ①グループワーク	
	授業外学習	(事前学習)配布資料を読む (事後学習)発表のための練習を重ねる	55分

第10回	テーマ 内容	絵本を素材として言語表現・身体表現を楽しむ②グループ発表	
	授業外学習	(事前学習)発表のための練習を重ねる (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第11回	テーマ 内容	児童文化財とことば—保育内容領域「言葉」とのかかわり—	
	授業外学習	(事前学習)テキストp.51～70を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	0分
第12回	テーマ 内容	子どものことばを豊かに育む保育者の役割—保育者の役割と環境構成—	
	授業外学習	(事前学習)テキストp.72～86を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第13回	テーマ 内容	まとめ これまでの学びを振り返る	
	授業外学習	(事前学習)これまでの学びを振り返る (事後学習)授業内で作成したノートや作品を整理する	55分

課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は、授業時に口頭や提出物返却を通じてフィードバックを行う。